

和水町総合教育会議

- 1 小中学校の現状と課題
- 2 教育環境
- 3 地域クラブ活動への移行

令和4年12月26日（月）

1 小中学校の現状と課題

統合3年目の様子（菊水小）

3年目

- ・少人数学級から20～30人学級になることへの不安（学習）
- ・友だちができるか。仲良くなれるのか。異学年とのつながり

- 多くの児童が現在の状況を当たり前の状況と捉え不安なく生活
- 異学年間の仲もよい
- うまくなじめずに不登校傾向になっている児童も存在
 - * R4全国学力・学習状況調査結果（6年生）
 - ・学校が楽しい（楽しい、まあまあ）：88.6%
 - * 統合3年目に受けつぎたい心を代表委員会で決定（人を大切にする心・団結する心、チャレンジする心、楽しむ心）

1 小中学校の現状と課題（小学校）

統合後の新たな課題（菊水小）

- ・ 不登校傾向、不登校児童が増加→より外部機関との連携が必要
- ・ 特別な支援が必要な児童が増加傾向（次年度は特別支援学級も1クラス増の予定）→現在、特別支援教育支援員（町）を5名では十分ではない状況。可能ならば増員を
- ・ S CやS S W等の外部専門家を活用しているが、不十分→常時、子供たちの心のケアができる職員（心の相談員）の配置及び適応指導教室の設置を
- ・ 保護者同士や保護者と教諭等と一緒に活動する機会の確保が不十分

1 小中学校の現状と課題

統合後の新たな課題（三加和小）

- ・ 小中合同の研修や行事を通して、職員間の連携 ○
- ・ 小学校職員の未配置の対応として中学校からの乗り入れ教科を増
→ 児童理解 ○
- ・ 合同の行事を実施→ P T A の組織の連帯感 ○
- ・ 職員の入れ替え等→ 小中乗り入れ授業の意識や理解 △
- ・ 競争心（切磋琢磨）や新しい友との出会いで刺激を受けて自己を
伸ばす機会が他校比 △
- ・ 現 6 年生 4 ～ 5 / 2 9 名中が三加和中学校以外の進学を視野

1 小中学校の現状と課題

- 1 段目：和水町教育委員会の児童生徒数の割合(%)
2 段目：熊本県(公立)の児童生徒数の割合(%)
3 段目：全国(公立)の児童生徒数の割合(%)

令和4年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙

1・・・◎:県国比高 △:県国比片方高 ▲:県国比低 数値 左寄り:県国比高 右寄り:県国比低

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

小◎

1	2	1+2
55	38	92
44	44	88
46	41	87

中◎

1	2	1+2
46	48	93.6
37	51	88.4
40	47	86.6

1：あてはまる 2：どちらかといえばあてはまる

1 小中学校の現状と課題

- 1 段目：和水町教育委員会の児童生徒数の割合(%)
- 2 段目：熊本県(公立)の児童生徒数の割合(%)
- 3 段目：全国(公立)の児童生徒数の割合(%)

令和4年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙

1・・・◎:県国比高 △:県国比片方高 ▲:県国比低 数値 左寄り:県国比高 右寄り:県国比低

今住んでいる地域の行事に参加していますか

小◎

1	2	1+2
33	41	74
24	31	55
23	29	53

中◎

1	2	1+2
24	48	71
13	28	41
14	26	40

1：あてはまる 2：どちらかといえばあてはまる

1 小中学校の現状と課題

- 1 段目：和水町教育委員会の児童生徒数の割合(%)
- 2 段目：熊本県(公立)の児童生徒数の割合(%)
- 3 段目：全国(公立)の児童生徒数の割合(%)

令和4年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙

1・・・◎:県国比高 △:県国比片方高 ▲:県国比低 数値 左寄り:県国比高 右寄り:県国比低

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む） る地域の行事に参加していますか

小△

1	2	1+2
27	38	65
24	45	69
28	44	71

中◎

1	2	1+2
24	38	61.9
13	41	54.7
15	43	58.5

1：あてはまる 2：どちらかといえばあてはまる

1 小中学校の現状と課題

- 1 段目：和水町教育委員会の児童生徒数の割合(%)
2 段目：熊本県(公立)の児童生徒数の割合(%)
3 段目：全国(公立)の児童生徒数の割合(%)

令和4年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙

1・・・◎:県国比高 △:県国比片方高 ▲:県国比低 数値 左寄り:県国比高 右寄り:県国比低

地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか

小▲

1	2	1+2
12	39	52
16	36	52
18	34	51

中◎

1	2	1+2
11	46	57
9.5	33	43
11	30	41

1：あてはまる 2：どちらかといえばあてはまる

1 小中学校の現状と課題

- 1 段目：和水町教育委員会の児童生徒数の割合(%)
2 段目：熊本県(公立)の児童生徒数の割合(%)
3 段目：全国(公立)の児童生徒数の割合(%)

令和4年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙

1・・・◎:県国比高 △:県国比片方高 ▲:県国比低 数値 左寄り:県国比高 右寄り:県国比低

難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか

小▲

1	2	1+2
21	52	73
25	45	71
28	45	73

中▲

1	2	1+2
11	49	60.3
18	47	64.8
21	46	67.1

1：あてはまる 2：どちらかといえばあてはまる

1 小中学校の現状と課題

1 段目：和水町教育委員会の児童生徒数の割合(%)
2 段目：熊本県(公立)の児童生徒数の割合(%)
3 段目：全国(公立)の児童生徒数の割合(%)

令和4年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙

1・・◎:県国比高 △:県国比片方高 ▲:県国比低 数値 左寄り:県国比高 右寄り:県国比低

自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか

小▲ 中▲

1	2	$1 + 2$
18	58	76
36	50	86
39	48	87

1	2	1 + 2
29	65	94
33	53	86
37	50	87

1 : あてはまる 2 : どちらかといえばあてはまる

1 小中学校の現状と課題

- 1 段目：和水町教育委員会の児童生徒数の割合(%)
2 段目：熊本県(公立)の児童生徒数の割合(%)
3 段目：全国(公立)の児童生徒数の割合(%)

令和4年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙

1・・・◎:県国比高 △:県国比片方高 ▲:県国比低 数値 左寄り:県国比高 右寄り:県国比低

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか

小▲

1	2	1+2
27	24	52
30	34	64
36	33	68

中▲

1	2	1+2
18	33	50.8
30	35	65
33	34	66.6

1：あてはまる 2：どちらかといえばあてはまる

1 小中学校の現状と課題

学力（対応状況）～小学校～

* 菊水小

- ・より個に対応できるように、特別支援教育支援員の活用や学習形態を工夫

* 三加和小

- ・昨年度から算数科を中心に基礎基本を定着させる取組
- ・家庭学習の習慣化に向けて低学年からの見取りを徹底
- ・児童が主体的に学習に取り組み、「わかった」「できた」を実感する授業の改善

1 小中学校の現状と課題

学力（対応状況）～中学校～

* 菊水中

- ・ 定期テスト前に実施するテスト前集会
- ・ 定期テスト 2 週間前に配布する「テストがんばるプログラム」を実施（テスト範囲表に掲載し、各教科の問題集・ワークのページ数を 1 日にできる量に分け、できたら生徒が塗りつぶしていく）
- ・ 全学調及び県学調・・・計画的に学力充実の時間を特設（学習時間の確保及び家庭学習にも反映）

* 三加和中

- ・ 昨年度県学調課題克服問題の確認テストを朝自習の時間に実施
- ・ 前日にフォローアップ問題を配付し、問題を苦手としている生徒に対しては、放課後個別に補充学習の時間を設定。当日の確認テストに望む

1 小中学校の現状と課題

いじめ・不登校等状況

	いじめ認知	不登校	不登校傾向
R 元年度	9 (小5中4)	9 (小1中8)	14 (小6中8)
R 2 年度	4 (小3中1)	7 (小2中5)	2 (小1中1)
R 3 年度	2 (小2)	10 (小5中5)	2 (小1中1)
R 4 年度 (11月末現在)	0	12 (小3中9)	5 (小4中1)

※いじめ認知：件 不登校等：人

1 小中学校の現状と課題

R 3 年度 心のアンケート (%)

	小学校	中学校
いじめられたことがある	16.7	0
誰かに話をした	69.0	
いじめを見たり聞いたりした	51.0	0.5
家庭：ネット上に悪口を書いた	3.2	0.5
家庭：ネット上に自分の個人情報を掲載	0.5	0.6

※いじめの態様（複数回答）

・ 言いがかり、殴られた、けられた ・ 仲間はずし・冷やかし、からかい ・ ネット

1 小中学校の現状と課題

不登校（対応状況）～小学校～

* 菊水小

- ・ 家庭との連絡を密にし、個に応じた学習環境づくり
- ・ 学校に気持ちが向くように外部機関（S C・S S W等）も積極的に活用

* 三加和小

- ・ 日曜日に、担任や級友と一緒に学校で遊ぶ機会を設定
- ・ 不登校対策委員会→関係保護者と面談→S CやS S Wなどの関係機関につないで対応

1 小中学校の現状と課題

不登校（対応状況）～中学校～

* 菊水中

- ・ SC、SSW及び関係機関との連携強化
- ・ 全職員で早期発見及び早期対応

* 三加和中

- ・ 専門的な立場（SCやSSW）からの不登校児童生徒の心の状況を定期的なケース会議で共有し、取組の方向性を確認
- ・ 保護者もSCやSSWを活用
- ・ 家庭訪問、保護者との連携を始め毎週の生徒理解の会、運営委員会、生徒指導部会、支援委員会で何度も全職員で情報共有→毎月我的生活アンケートを行い定期的な教育相談を実施。必要に応じて、SCやSSWと連携

1 小中学校の現状と課題

いじめ防止～小学校～

* 菊水小

- ・ ネット等を介したいじめ問題が学校生活にも影響を与えている
- ・ 個別指導の他に懇談会等、様々な機会を通じた保護者への啓発

* 三加和小

- ・ 毎月「仲良しチェック」を実施

1 小中学校の現状と課題

いじめ防止～中学校～

* 菊水中

- ・ 命の講話や「菊水中いじめ撲滅宣言」等の実施し、いじめはいけないという意識づけの徹底

* 三加和中

- ・ 日常の悩み事や相談事に関しては、ブーメランレターを実施（約2か月に1回）
- ・ 運営委員会や生徒指導部会（週1回）、生徒支援委員会（月1回）を通して生徒に関する情報等を共有して、対応

※ブーメランレター：生徒が、担任に限らず、相談したい先生に対して手紙を書き、それをもらった先生が悩み等の相談にのる

1 小中学校の現状と課題

体力結果

R 3 年度県基準値比△ベスト 3 種目

* 菊水小

・ 50 m 走 ・ 握力 ・ 反復横跳び

* 三加和小

・ 反復横跳び ・ 立ち幅とび ・ ボール投げ

* 菊水中

・ 長座体前屈 ・ ボール投げ ・ 50 m 走 ・ 上体おこし

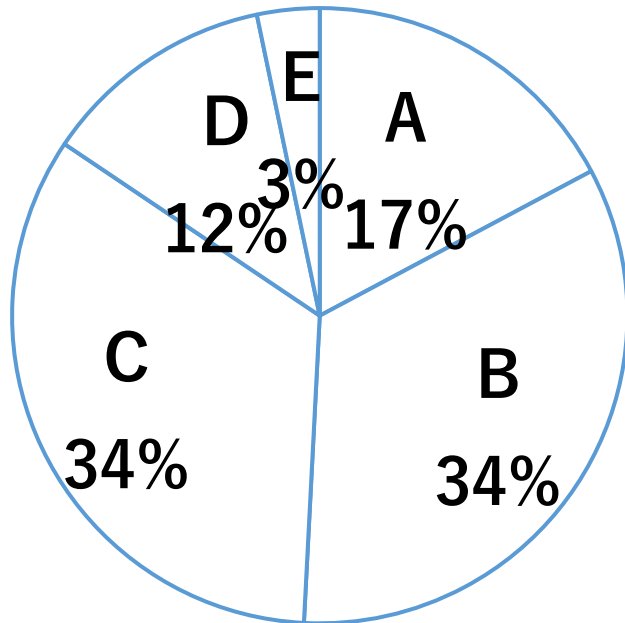
* 三加和中

・ 反復横跳び ・ ボール投げ ・ 上体おこし

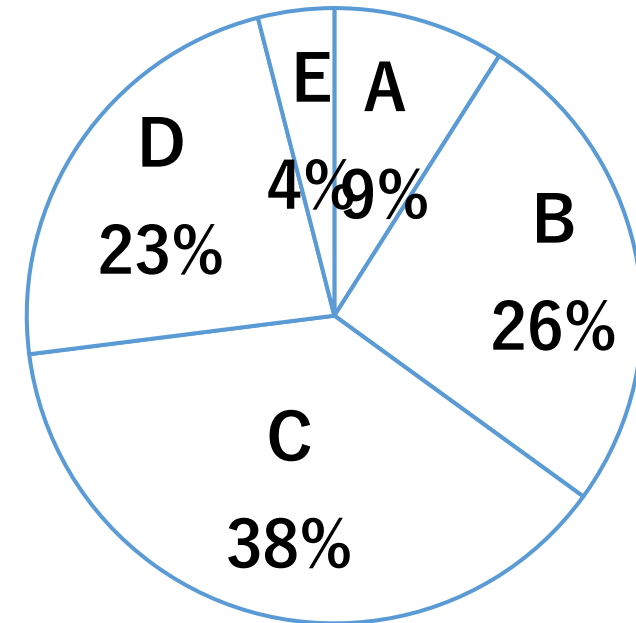
1 小中学校の現状と課題

体力結果（判定評価）

R 3 小学校下学年（男子）



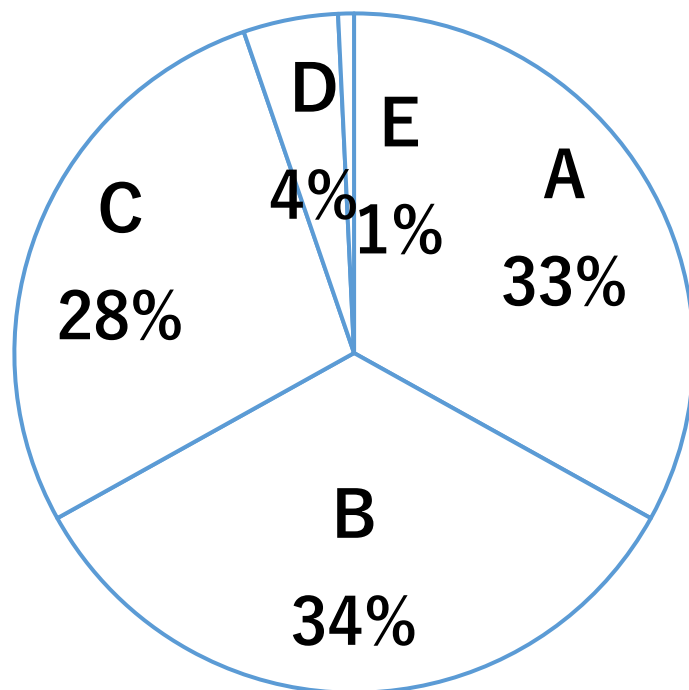
R 4 小学校下学年（男子）



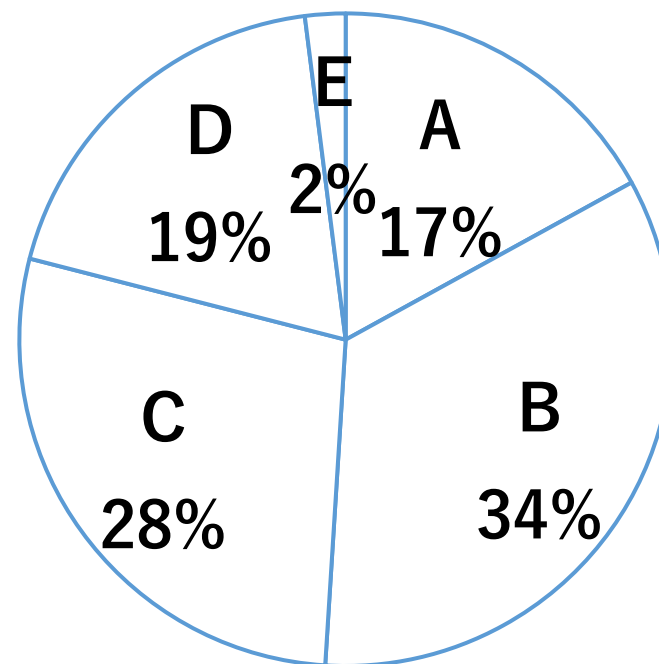
1 小中学校の現状と課題

体力結果（判定評価）

R 3 小学校下学年（女子）



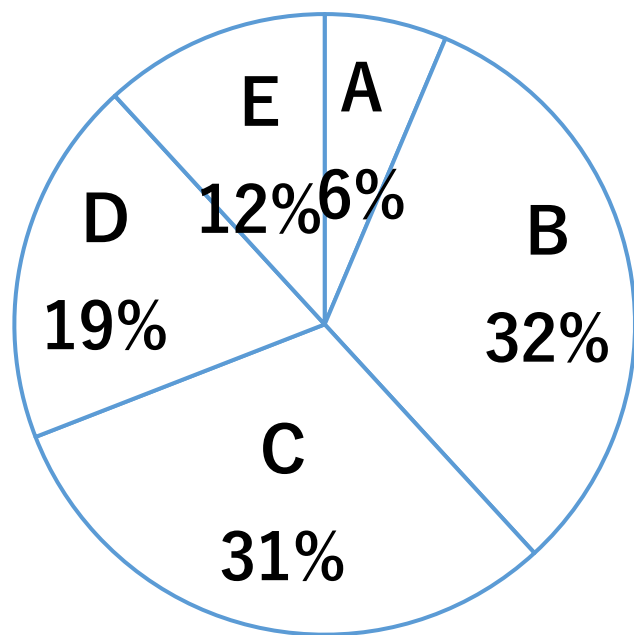
R 4 小学校下学年（女子）



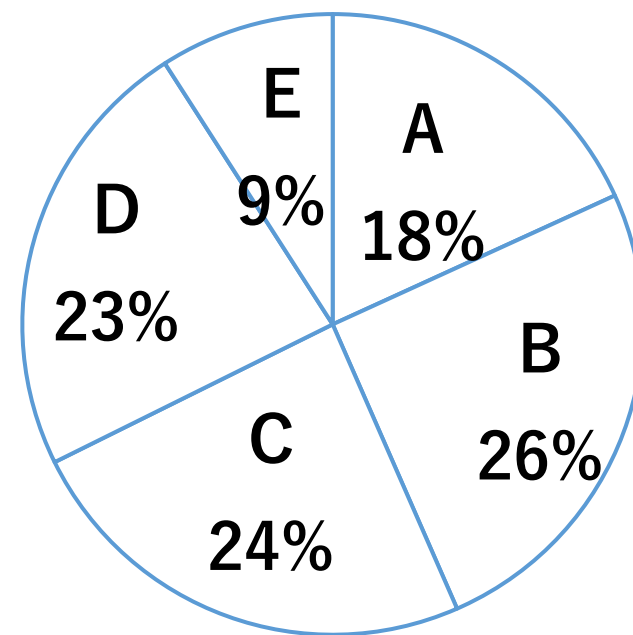
1 小中学校の現状と課題

体力結果（判定評価）

R 3 小学校上学年（男子）



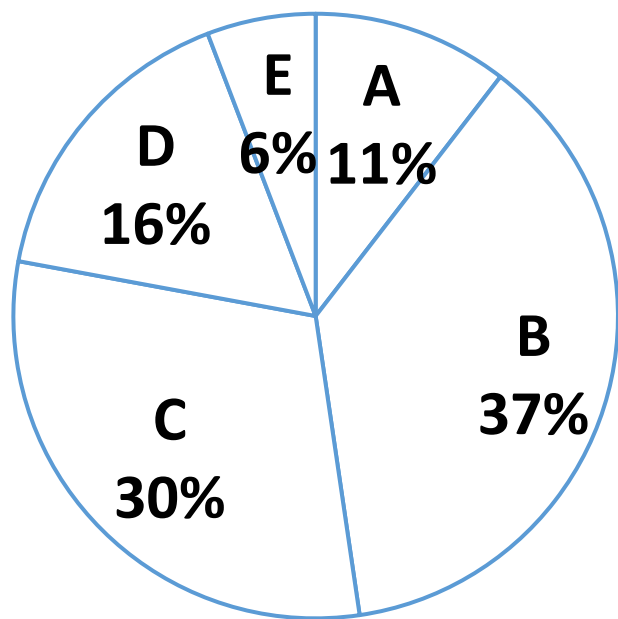
R 3 小学校上学年（男子）



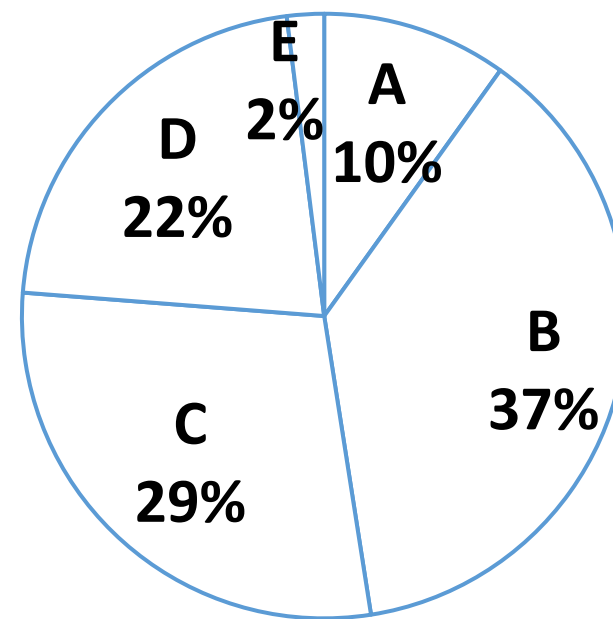
1 小中学校の現状と課題

体力結果（判定評価）

小学校高学年（女子）



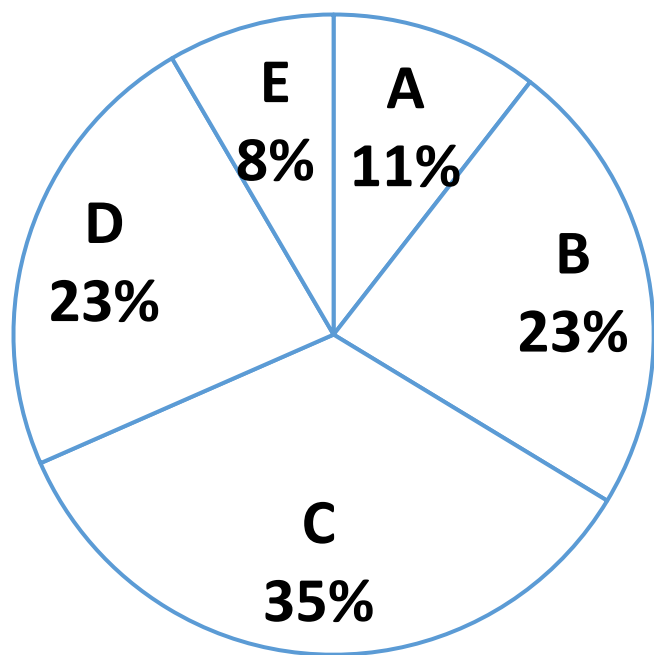
小学校高学年（女子）



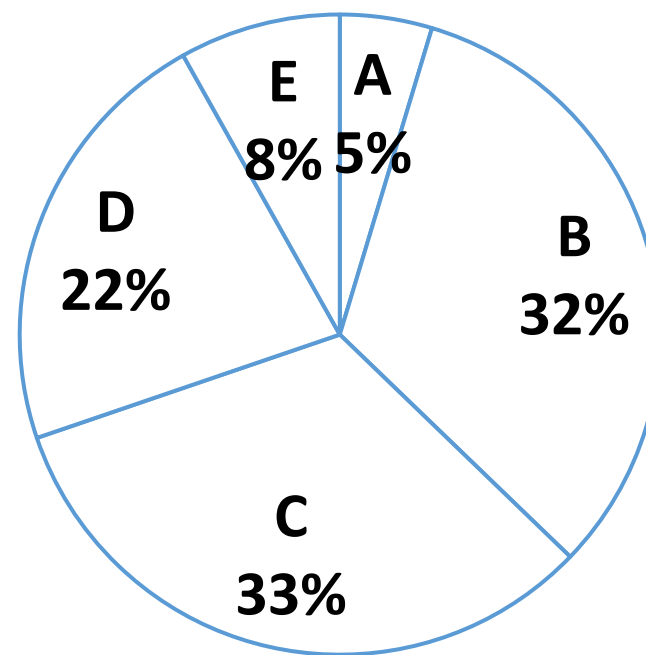
1 小中学校の現状と課題

体力結果（判定評価）

R 3 中学校（男子）



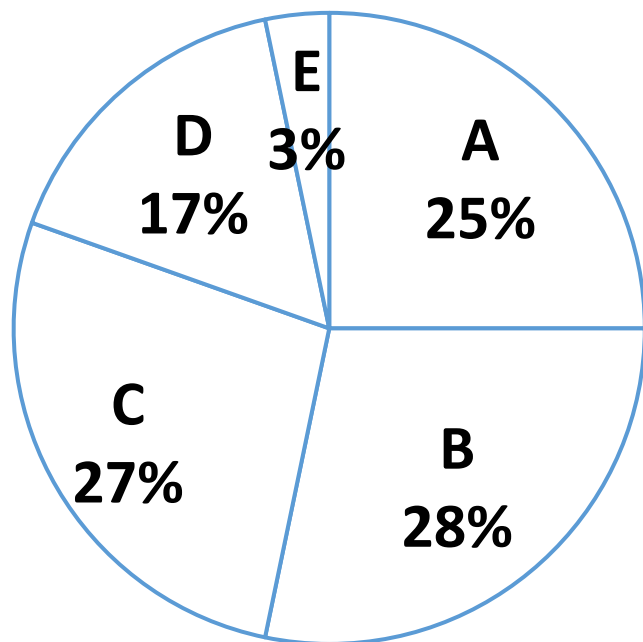
R 4 中学校（男子）



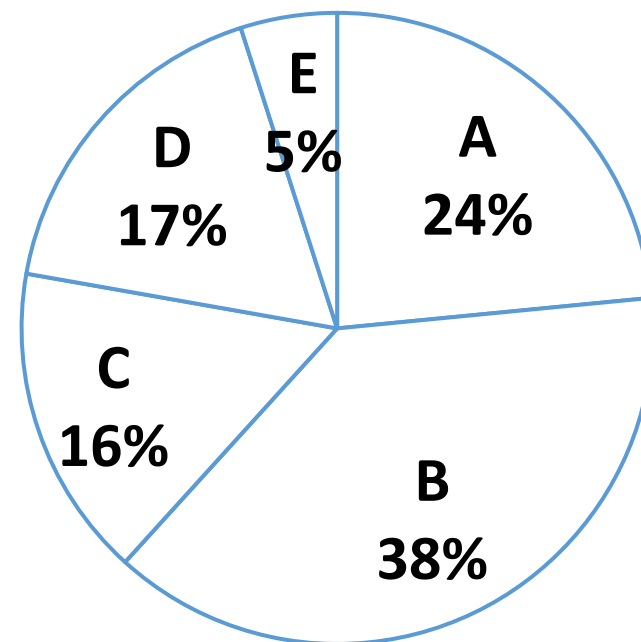
1 小中学校の現状と課題

体力結果（判定評価）

R 3 中学校（女子）



R 4 中学校（女子）



1 小中学校の現状と課題

体力（対応状況）～小学校～

* 菊水小

- ・ 体育の時間に全校で統一してラジオ体操を実施
- ・ 体育委員会を中心に、体力アップのイベント等を実施

* 三加和小

- ・ 始業前の朝マラソンの声かけ
- ・ 縦割り遊びで体を動かす機会を設定（ドッチボールや長縄遊び）

1 小中学校の現状と課題

体力（対応状況）～中学校～

* 菊水中

- ・ 体育の時間の運動量の増加及び体全体を使う準備運動の導入

* 三加和中

- ・ 単元別に自宅でもできるスキルトレーニングを紹介
- ・ 体力がなぜ必要なのかから授業を始め、体育の授業のみならず昼休みや放課後にレクリエーションやランニングの時間を設定

1 小中学校の現状と課題

肥満度 軽度以上の割合（％）

	小学校	中学校
R 元年度	8.3 9 (7.42)	10.36 (8.47)
R 2 年度	10.07(7.79)	11.86 (8.91)
R 3 年度	10.69(7.79)	13.07 (8.91)
R 4 年度	11.99	11.22

※（ ）：全国平均

1 小中学校の現状と課題

肥満度 軽度以上（対応状況）～小学校～

* 菊水小

- ・ 統合1年目・・・休み時間等に運動場でボールを使った遊び △
- ・ 2年目・・・一輪車や竹馬等の利用もできるように整備
- ・ 3年目・・・ボール運動も曜日等を工夫して実施できるように工夫

* 三加和小

- ・ 養護教諭・・・児童への保健指導、保護者に保健便りで周知と改善の啓発
- ・ 始業前の朝マラソン及び体育において補強運動を実施

1 小中学校の現状と課題

肥満度 軽度以上（対応状況）～中学校～

* 菊水中

- ・保健だより等による現状報告と啓発

* 三加和中

- ・家庭へ個別で連絡
- ・自力登校の呼びかけ
- ・放課後の体力づくり
- ・個別指導

1 小中学校の現状と課題

視力（裸眼視力 1.0 未満の割合の推移）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
小学校	22.98%	23.54%	23.89%	27.79%	31.45%
中学校	47.93%	48.70%	46.39%	48.24%	46.94%
全国平均 (小)	32.45%	34.57%	37.52%	36.87%	
全国平均 (中)	56.33%	57.47%	58.29%	60.28%	

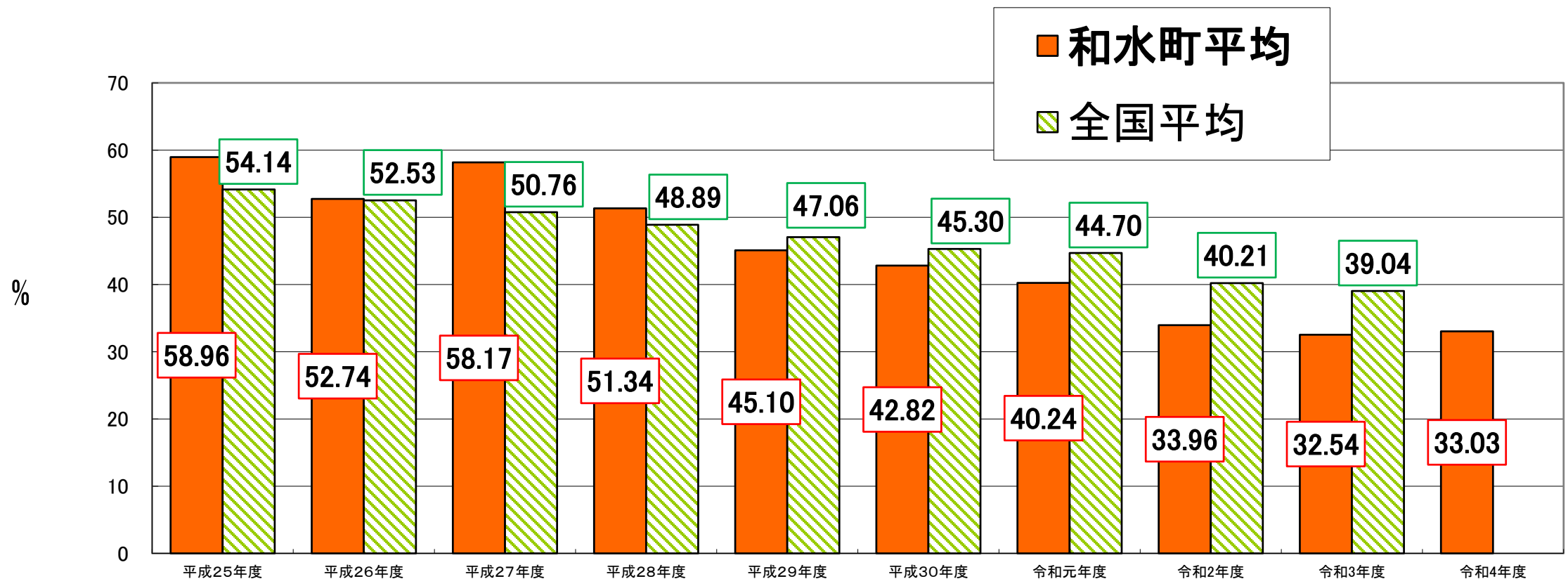
1 小中学校の現状と課題

視力（対応状況）

- * 菊水小
 - ・ 視力検査（年2回）を行い、その結果を保護者に通知
 - ・ 保健便りを通しての啓発
- * 三加和小
 - ・ 目の愛護週間:食育や保健面など様々方面から目の愛護への意識化
- * 菊水中
 - ・ 個別対応が必要な生徒・・・個別受診連絡
 - ・ 委員会活動で目に関するクイズを掲示し、啓発
- * 三加和中
 - ・ 4月・10月の視力検査
 - ・ 家庭へ個別通知
 - ・ 保健だよりによる啓発

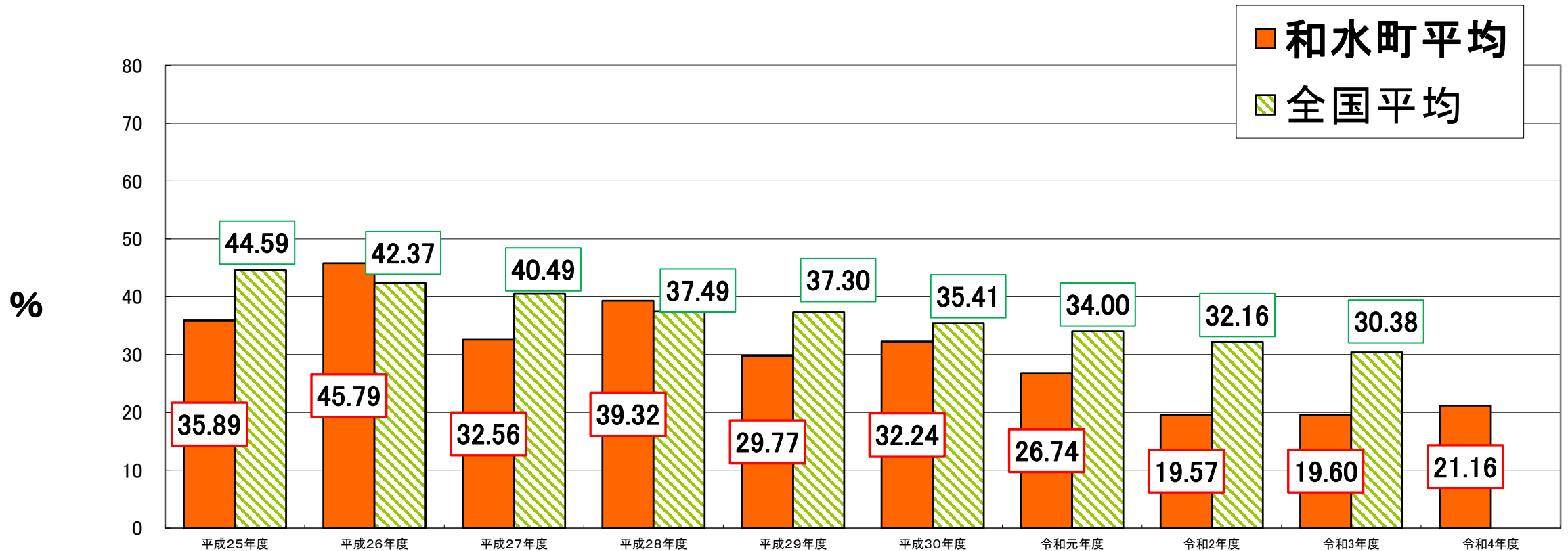
1 小中学校の現状と課題

う歯保有者率の推移～小学校～



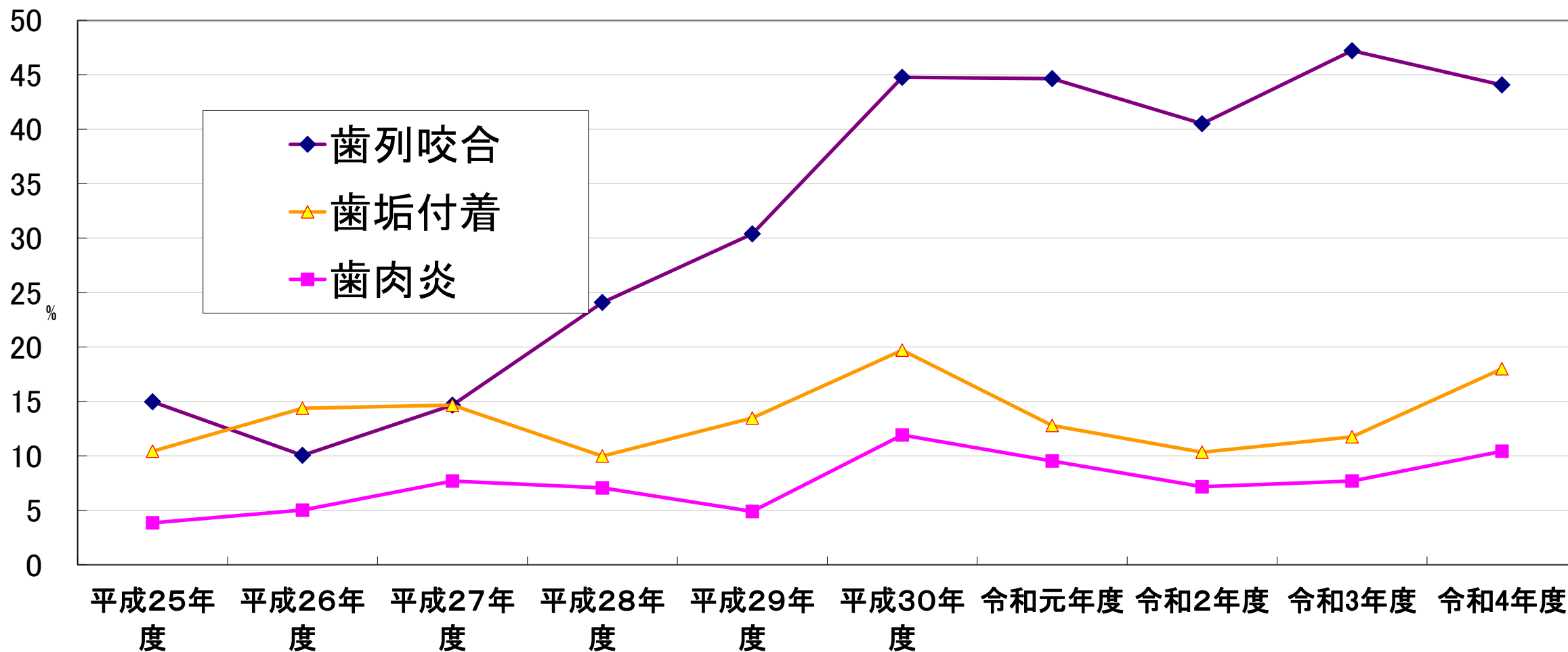
1 小中学校の現状と課題

う歯保有者率の推移～中学校～



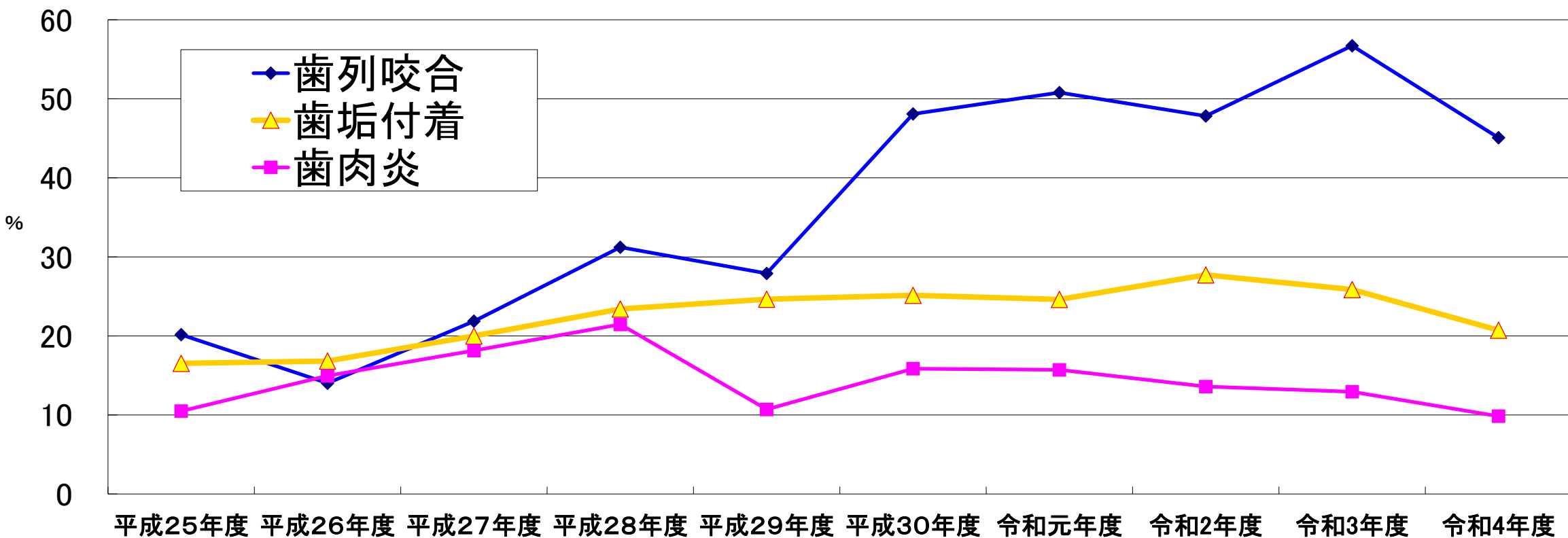
1 小中学校の現状と課題

う歯以外の歯及び口腔の状況推移～小学校～



1 小中学校の現状と課題

う歯以外の歯及び口腔の状況推移～中学校～



1 小中学校の現状と課題

う歯（対応状況）～小学校～

* 菊水小

- ・ 6～7月に各学年に応じた「歯の教室」を実施（養護助教諭）
- ・ 給食後、児童は各教室で歯磨きビデオ（映像）を見ながら、映像に合わせて歯磨きを実施
- ・ 歯科検診を2回行い保健便りや歯科検診の結果等を保護者に届け治療の啓発を定期的の実施
- ・ 保護者等にも磨き残しの実態を知ってもらうために、夏休みに、各家庭で染め出しを実施
- ・ 夏休みに歯磨きカレンダーを実施
- ・ フッ化物洗口の実施

1 小中学校の現状と課題

う歯（対応状況）～小学校～

＊三加和小

- ・学級活動「歯科指導」（全学年対象、歯科衛生士による）
- ・保健だよりで周知
- ・歯科受診（治療勧告）を保護者に依頼
- ・昼休みに個別のブラッシング指導
- ・1年生保護者対象で給食試食会での「講演会」開催
- ・フッ化物洗口の実施

1 小中学校の現状と課題

う歯（対応状況）～中学校～

* 菊水中

- ・ 2 回目の歯科検診の結果配布と治療勧告
- ・ 保健便りの発行
- ・ 歯科衛生士によるブラッシング指導（各学級）
- ・ 歯の衛生週間の掲示物（ポスター）掲示
- ・ 保健委員会活動・・・集会や放送等で、歯磨きの重要性の呼びかけ及び掲示物作成（歯に関するクイズなど）
- ・ フッ化物洗口の実施

1 小中学校の現状と課題

う歯（対応状況）～中学校～

＊三加和中

- ・4月・11月の歯科検診
- ・家庭への個別通知
- ・保健だよりによる啓発
- ・歯科衛生士による歯科講話の実施
- ・歯垢染色剤を使用したブラッシング指導
- ・フッ化物洗口の実施

2 教育環境

ICT教育による効果や問題点（菊水小）

- 不登校児童への学習環境の場の提供
- 多様な授業形態が考えられ、より個に応じた指導につながっている
- 教諭自身のスキルアップが更に必要
- wi-Fi環境が整っていない家庭への活用
次年度からタブレットを持ち帰らせる予定であることから、何らかの対策が必要
- パソコン教室を空き教室としての活用 △（リースのため、パソコンの引き取りが難）

2 教育環境

ICT教育による効果や問題点（三加和小）

- 学校でのICT活用の環境整備
- 子どものタブレット活用の技能
- △正しく使用する態度（ルールに従って活用）
- 教師の指導技術に個人差
- 持ち帰りに向けての家庭の受け入れ環境の整備
- ※タブレットの持ち帰り→町の児童生徒全員が決めたルールを守るよう保護者への周知が必要
- ※他市町の流れに合わせ持ち帰りを進めることが重要

2 教育環境

ICT教育による効果や問題点（菊水中）

- スライド等が次々に映し出される→生徒が授業に対する集中増
- 授業内の生徒の意見をすぐに、電子黒板、タブレット等に表示→自分と他者の意見が比較しやすく、生徒の考えが広がる。
- 調べ学習等の探究型授業を行いやすい。
- 次々とスライド及び写真が変わることで記憶に残りにくく、学習過程に工夫が必要
- タブレットの活用△（生徒がタブレット等を持ち帰っていない）

2 教育環境

ICT教育による効果や問題点（三加和中）

- タブレットを使った個人アンケートなどは、集計時間も短縮しとても有効
- 各教科の授業において、必要な場面で効果的に活用
- 学習目的以外の活用→活用時間を授業中に制限
 - 生徒の情報活用能力をあげるためには、制限をせずに、自分で必要なときに活用できるようにした方がよいが、特に年度初め、そして随時徹底していくことが必要

幼児期からの英語教育の効果や必要性（小学校）

- 英語への抵抗感が減→興味関心 高
中学校での英語嫌いも減らすことができるのではないか
 - A L T（町職）を採用→英語専科が不在時・・・A L Tが担任と連携して授業
 - 授業の中でも外国語に触れる機会（時間）増→低学年においても意欲的な学習
 - 幼児期からの音声言語での「慣れ」は必要
 - ネイティブの音声を聞く機会 多→小学校の外国語活動・英語活動へスムーズな移行・つなぎ
- ※中学年へうまく移行できるように今、低学年では限られた時数で内容を工夫して活動
・幼児から中学校までの関係者で系統を確認できる場の確保が必要

幼児期からの英語教育の効果や必要性（小学校）

・ R 3 年度全国学力・学習状況調査より

（あてはまる・どちらかといえばあてはまる）

★英語の勉強は好きか：町 6 5 %（県平均：6 9 . 7 %）

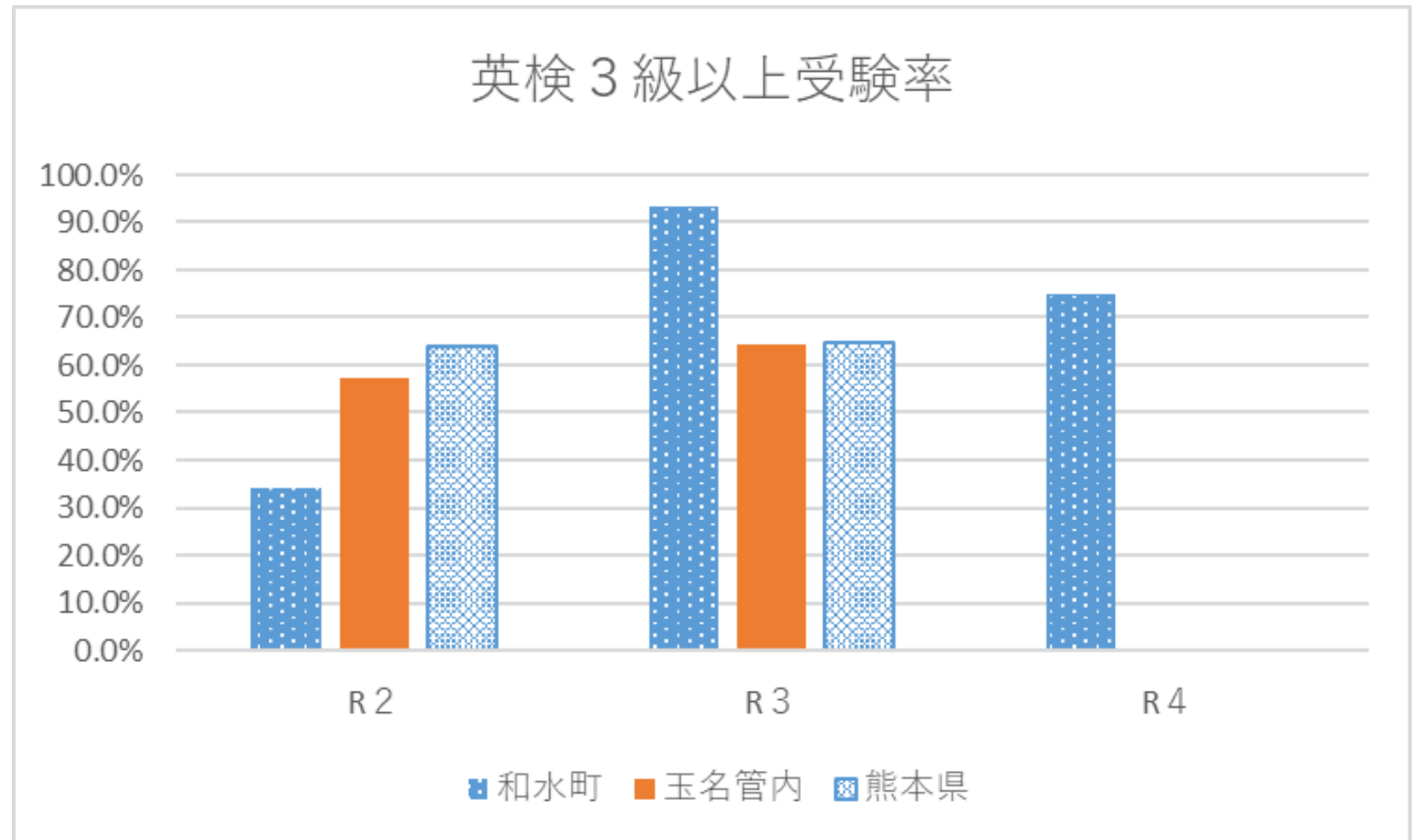
★これまで学校の授業以外で英語を使う機会があったか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）

：町 2 5 %（県平均：3 8 . 4 %）

2 教育環境

英検 3 級相当以上（セフール A 1）受験率

	受験率		
	R 2	R 3	R 4
和水町	34.3%	93.5%	75.0%
玉名管内	57.1%	64.4%	
熊本県	64.1%	64.7%	



2 教育環境

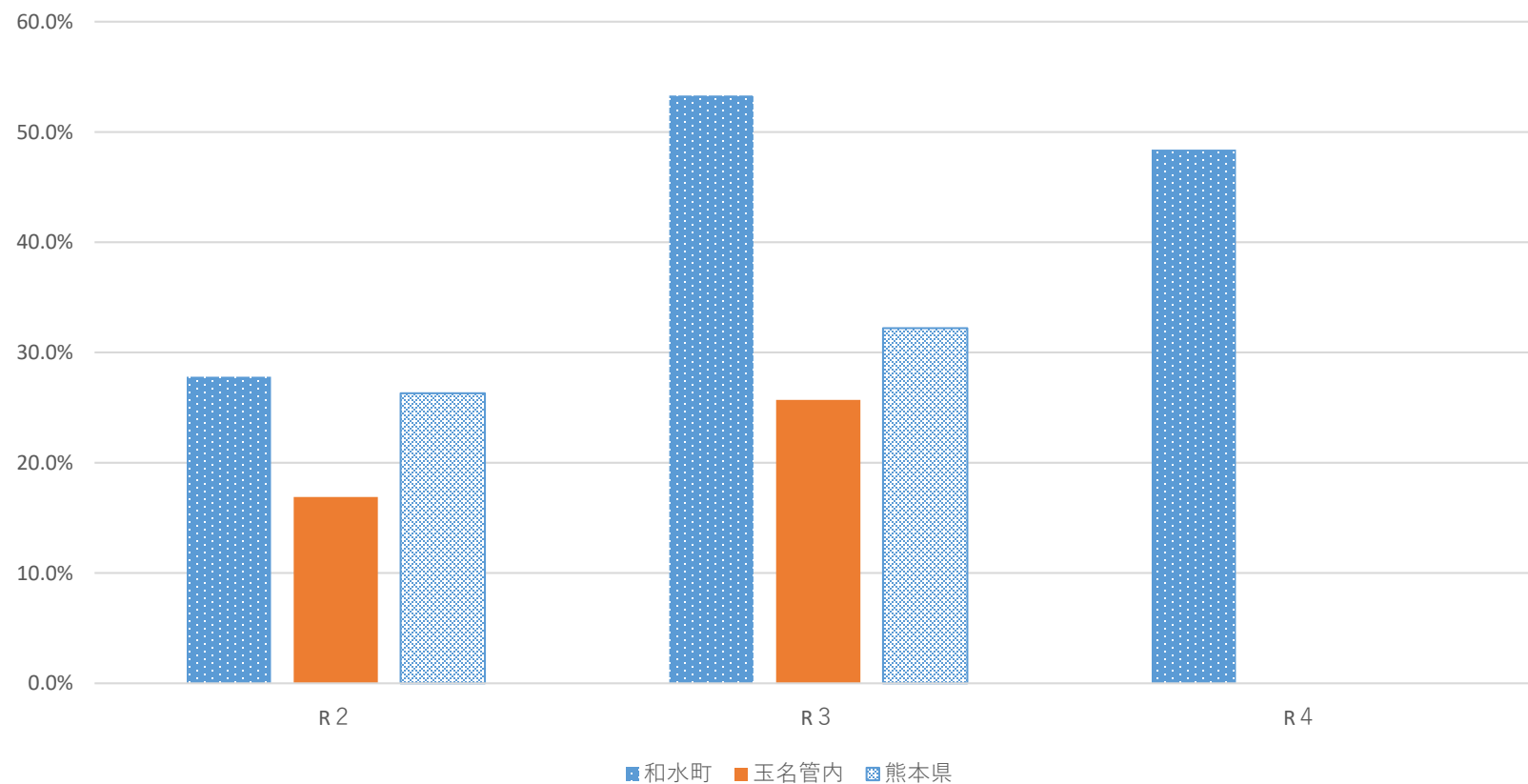
英検 3 級相当以上（セフアール A 1）取得率

CEFRA 1 相当以上の
英語力の取得割合

R 2	R 3	R 4
27.8%	53.3%	48.4%
16.9%	25.7%	
26.3%	32.2%	

※R 4 の熊本県の目標値36.0%

CEFRA1相当以上の英語力の取得割合



2 教育環境

小中一貫教育分離型のよさと（菊水地区）

- 生徒及び教職員も活動、研修等が新鮮（意見等も出やすい）
- 時期を絞っての授業連携や年に数回の交流活動（年2回小中合同ボランティアなど）を実施
- 「目標連携」・・・中学校卒業時の目指す和水の子どもの姿を小中で共有→共通の目的を持って各小中で教育実践→成果を定期的に合同校内研等で確認
- 幼保等、小、中連携カリキュラムを作成→一貫した取り組み

2 教育環境

小中一貫教育分離型の課題（菊水地区）

- 乗り入れ授業及び小中合同で行う場合の連絡調整時間
- 授業での連携を継続していきたいが、打ち合わせの時間の確保
- 分離型のため移動等も必要→授業時間+移動時間。時間割調整等工夫する必要あり
- 日常的な授業の連携や児童生徒の交流

2 教育環境

小中一貫教育併設型のよさ（三加和地区）

- 小中教育観の共有と学力観・指導観のすり合わせが可能
- 9年間多くの職員が子ども達を見守ることが可能
- 生活面・学習面ともに、段差の少ない小から中への移行
- 中学生は見習われる存在として、プライドの芽生え
- 職員が小中の児童生徒とふれあう機会 多
- 9年間で育てる意識が高まり、課題も共有
- 読み聞かせや挨拶運動など実際に小中の児童生徒と一緒に時間を共有して過ごすことが容易
- 乗り入れ授業も可能

2 教育環境

小中一貫教育併設型の課題（三加和地区）

- 9年間、教育施設・環境面に変化がなく、進学時に新鮮味が乏しくマンネリ化する可能性→中学生進級後、生徒（生徒会等）中心に企画・運営の機会を設定し、新たな視野を持たせる工夫が必要
- 子ども達の間人間関係が固定化しがち→学び合いの学習活動や生徒会主催の全校レクリエーション、S S T等を取り入れながら自己の殻を破る機会を意図的に設定
- 校区が広いため、小学校時代のバス通学による体力低下→全校での体力増進の時間を設定。体力増進目的の平日のみ短時間の部活動設置
※乗り入れ授業・・時間帯の違いや行事の調整等が必要→連携職員（教務）が担任外として動けるための職員配置は必須

2 教育環境

地域未来塾～登録者数～

	国数英	英検準備	クリエイティブ デザイン
菊水中	1 6	2	5
三加和中	1 5	7	5
計	3 1	9	1 0

2 教育環境

放課後子ども教室

	登録者数	実施回数
菊水小	1 1	1 8
三加和小	4	1 3
計	1 5	3 1

(12月末)

2 教育環境

令和4年度 文化継承の取組～古墳～

No	時 期	項 目	参加者	人数
1	6月10日	江田船山古墳説明(町から)	菊水小6年	45
2	11月20日	江田船山古墳子どもガイド (山太郎祭当日)	一般	100
合 計				145

2 教育環境

令和4年度 文化継承の取組～みかわ手漉き和紙体験～

作 製 項 目	参加者	人数
ハガキ	菊水小児童クラブ	4 0
卒業証書	町内保育園	2 0
卒業証書	町内小中学校	1 4 2
ハガキ・名刺	里山美術展	5 1
ハガキ	和水町文化祭	5 0
ハガキ・画用紙・卒業証書	他	1 4 1
計		4 4 4

2 教育環境

令和4年度 文化継承の取組～その他～

項 目	利用者・観覧者・エントリー者数
肥後古代の森菊水地区	1 0, 0 0 0 人見込み
田中城ミニミュージアム	5 6 5 人（11月末）
金栗四三の生家	1. 2 9 4 人（11月末）
秀島由己男展(文化祭)	3 7 4 人
金栗四三翁マラソン大会（町内）	5 3 人（中学生以下 2 8 人）
金栗四三翁マラソン大会（町外）	7 9 5 人

2 教育環境

働き方改革～小学校～

* 教職員の時間外在校等時間の状況（％） R 4：11月まで

	月 45 時間以内	月 4 5 時間超	
			うち 80 時間超
令和 2 年度	9 1. 0	9. 0	0. 6
令和 3 年度	9 3. 1	6. 9	0. 9
令和 4 年度	7 7. 6	2 2. 4	1. 5

2 教育環境

働き方改革～小学校～

* 時間外在校時間の内訳（主な理由） 月45時間超（全体を100%） R4：11月まで

	教材研究等	校務分掌	諸調査等の 事務処理	保護者対応 等	その他
令和2年度	20.8	20.8	28.5	10.4	19.5
令和3年度	25.9	46.5	25.9	1.7	0
令和4年度	35.1	34.3	28.2	2.3	0

2 教育環境

働き方改革～中学校～

* 教職員の時間外在校等時間の状況（％） R 4：11月まで

	月 45 時間以内	月 4 5 時間超	
			うち 80 時間超
令和 2 年度	6 5. 1 %	3 4. 9 %	6. 0 %
令和 3 年度	6 5. 6 %	3 4. 4 %	4. 7 %
令和 4 年度	5 4. 4 %	4 5. 6 %	7. 7 %

2 教育環境

働き方改革～中学校～

* 時間外在校時間の内訳（主な理由）月45時間超（全体を100%） R4：11月まで

	教材研究 等	部活動	校務分掌	諸調査 等の事 務処理	保護者 対応等	その他
令和2年度	8. 5	38. 1	35. 8	7. 4	0. 6	9. 6
令和3年度	29. 2	31. 7	26. 8	5. 9	0. 5	5. 9
令和4年度	28. 6	28. 1	21	6. 3	0. 4	15. 6

2 教育環境

働き方改革～各校の取組～

- ・ 定時退勤日の設定
- ・ 出勤管理簿による勤務時間の適正管理
- ・ 超過勤務者（80時間越え）への状況把握（健康状態・声掛け）
- ・ 「今日は何時にカエルボード」による意識づけ
- ・ 年休取得の奨励
- ・ 部活動は複数体制で担当
- ・ 専門的人材等の活用（S C、S S W、町任用職員、キャリアプランニングアドバイザー、地域学校協働活動指導員、I C T支援員、学力向上アドバイザー）
- ・ ボランティアの活用（登下校の見守り、校地整備、体験活動補助、読み聞かせ、水泳指導等）

働き方改革～各校の取組～

- ・一部教科担任制（小学校）
- ・ICT活用による業務効率化（会議提案資料のペーパーレス化、デジタル教材の活用、テレビ会議システムによる遠隔での別室授業、保健日誌・学校日誌等の電子化、電子掲示板の活用、成績処理、指導要録、通知表）
- ・タブレット活用（生徒の健康観察・児童生徒へのアンケート、教職員、生徒、保護者への学校評価アンケート、教職員の毎月の自己評価アンケート等）
- ・夜間、休日の保護者から学校への緊急連絡対応（Gメール）
- ・学校から保護者への情報提供や緊急時の連絡（安心安全メール）
- ・提案事項のデータ共有

2 教育環境

働き方改革～各校の取組～

- ・働き方改革に関するアイデア募集
- ・職員が仕事にやりがいを持てるよう、些細な児童の成長においても文書、口頭で伝達
- ・共通実践事項の取組によるぶれない教育活動
- ・教材準備の効率化
- ・通知表の記載等の見直し
- ・学級通信の変更（A 4）
- ・学校への作品募集の精選
- ・学校行事の見直し
- ・学校運営協議会、P T A 総会時に働き方改革取組状況の把握
- ・後始末より前始末（生徒指導、保護者対応、学校行事）

2 教育環境

働き方改革～委員会の取組～

○人材等の任用（町任用職員）

	数	菊水小	菊水中	三加和小	三加和中
特別支援教育支援員	1 2	5	2	3	2
不登校学習支援員	3	1（未）	1	（1）	1
A L T	2	1	（1）	（1）	1
司書補助	2	1	（1）	1	（1）
校務支援員	2	1		1	
施設管理員	1	（1）	1	（1）	（1）

2 教育環境

働き方改革～委員会の取組～

○人材等の任用

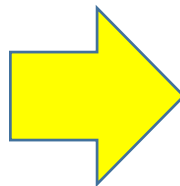
- ・ キャリアプランニングアドバイザー
- ・ 地域学校協働活動指導員（各校区1名）
- ・ I C T 支援員

2 教育環境

働き方改革～委員会の取組～

・ボランティア募集

応募区分	人数
全校（4小中すべて）	5
菊水小学校	6
菊水中学校	6
三加和小学校	17
三加和中学校	12



三加和小中学校	11月30日（水）
菊水小中学校	12月7日（水）
●学校ボランティアの活動について （社会教育課・地域学校協働活動推進員より） ●自己紹介（学校ボランティアより） ●ボランティアに関する要望について （小中学校より）	

働き方改革～委員会の取組～

- I C T活用による業務効率化
 - ・ デジタル教科書の導入
 - ・ 遠隔での別室授業
 - ・ 校務支援ソフトを予算化→次年度から本格実施
- 閉庁日を設定
(8 / 8 ～ 8 / 1 2、 1 / 4)
学校教育課が期間中対応 (8 : 3 0 ～ 1 7 : 1 5)
- 働き方改革に関するアイデア募集
- 超過勤務者の状況把握→町の状況を報告



各校のアイデア・町の状況を紹介

3 地域クラブへの移行

スポーツ庁「運動部活動改革」のこれまでの経緯・取組

「運動部活動の地域移行に関する検討会議の提言（令和4年6月）抜粋

少子化が進行するなかでも将来にわたり我が国の子どもたちがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保し、同時に学校の働き方改革を推進し学校教育の質向上も目指す。

まずは、休日の運動部活動から段階的に地域移行していくことを基本とし、目標時期は、令和5年度の開始から令和7年度末を目途とする。次に、平日の運動部活動の地域移行は、できるところから取り組む。地域におけるスポーツ機会の確保、生徒の多様なニーズに合った活動機会の充実、地域のスポーツ団体等と学校との連携・協働の推進を押し進める。

3 地域クラブへの移行

スポーツ庁「運動部活動改革」のこれまでの経緯・取組

「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン(案)」
発表（令和4年11月） 抜粋

令和4年夏に取りまとめられた「部活動の地域移行に関する検討会議」の提言を踏まえ、平成30年に策定した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」及び「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」と統合した上で全面的に改訂。これにより、学校部活動の適正な運営や効率的・効果的な活動の在り方とともに、新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応について、国の考え方を提示。 ※令和4年12月16日まで意見募集中

3 地域クラブへの移行

町の推進状況

- ・ 南関町に情報収集
- ・ 中学校教諭を対象にアンケート調査
- ・ 町内スポーツ団体代表者会
- ・ 中学校体験入学説明会で部活動の地域移行について説明予定
- ・ 中学校保護者対象に説明予定
- ・ 中学校教諭、管理職、部活動外部指導者+町内スポーツ団体代表者での協議予定
- ・ 小学5・6年生、中学生及び保護者対象のアンケート調査予定